

宇治支援学校のことば

喜びはともにあること

～ よりよく生きる力をはぐくむ ～

京都府立宇治支援学校 校長 池原 幸代



校内の桜が満開となり、春らしい優しい日差しを感じる季節となりました。日頃より保護者の皆様には、本校の教育への御理解御協力をいただき、誠にありがとうございます。

4月9日の入学式で小学部24名、中学部28名、高等部40名の新入生を迎え、今年度は児童生徒332名で令和6年度をスタートしました。児童生徒一人一人が、新年度の一步を踏み出し、新しい学校生活が始まりました。これからたくさんの出会いの中で学習したり経験したりして、「こんなことをがんばろう」「こんなことがしてみたい」と目標をもち、いろいろなことに挑戦して、学びを深めてほしいと思います。

本校は、子ども達の成長を、保護者、教職員、子ども達自身が喜び合える、そして地域とともに歩む学校として、「喜びはともにあること」を教育理念として掲げています。またその理念に基づき子ども達が地域社会の中で自分らしくよりよく生きようとする力をつけていけるよう、「よりよく生きる力をはぐくむ」を教育目標としています。

教育理念や目標のもと、「地域社会に貢献し幸せに暮らすことができる」を目指す児童生徒像とし、そのために、「楽しく元気に過ごせる」「人との関わりを大切に」「学び、考え、主体的に行動できる」よう自分らしく幸せな人生を歩んでほしいと願い教育をすすめていきたいと思っています。

子ども達一人一人に目を向けて、一日一日を大切にし学びが届けられるように、務めてまいります。また目標に向かって頑張り自分や人を大切にできるよう、教職員一同子ども達を支え応援していきます。

今年度も活気に満ちた笑顔あふれる一年にしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

